

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (No.45)

2013. 7. 1

もくじ

1. 4 月度 Abies ボランティア活動
春の一般公開サポート
2. 5 月度 Abies ボランティア活動
千葉演習林春の研修会聴講ほか
3. 今後の Abies ボランティア活動予定

4 月度 Abies ボランティア活動 春の一般公開サポート

岩崎寿一

日 時 2013 (平成 25) 年 4 月 20 日 (土) 8:30~16:00

天 候 曇りから小雨 気温は低かった。

スタッフ 演習林 3 名 森林理水および砂防工学研究室 4 名 FIC (千葉県森林インストラクター会)
4 名 NPO 法人房総の野生生物調査会 1 名 Abies 6 名 (石松夫妻、川波夫妻、岩崎夫妻)
計 18 名

入林者数 95 名

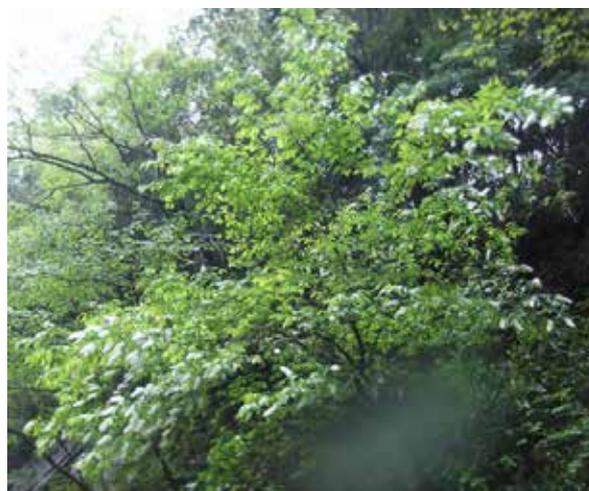
今回初めて AED が加勢受付に用意された。

天気予報は芳しくなく、気温も低かったため入林者数は少なかった。(ツアーは一団体)

車を小屋ノ沢に移動後、しばらく小屋ノ沢に詰めていた時イタチが遊びに出てきた。

今年は 15 日ほど季節が早くきたようで、例年とは違う植物に出会えた。

ウワミズザクラが満開の状態であちこちに咲いていた。こんなにウワミズザクラがあったとは、今まで気がつかなかった。



ウワミズザクラ

カヤランが咲いているのを教えられ、双眼鏡で確認した。初めてだった。

ヒメフタバランの花は終わっていた（花期は3月）が、群落があることを発見した。

シュスランとミヤマウズラの株が健在であることを確認した。両方とも花期は8月、今年こそ花を見に行こう。

一日中寒い日だった。歩くことで体を温めた。



カヤラン

日時 2013（平成25）年4月21日（日） 8:30～16:00

天候 午前中強い雨 13時過ぎから小雨に、雨は1日続いた。 気温低し

スタッフ 演習林 3名 森林理水および砂防工学研究室 0名 FIC 4名

NPO 法人房総の野生生物調査会 2名 Abies 2名（岩崎夫妻） 計 11名

Abies は当初9名が参加の予定だったが、前日の天気予報が午前中強雨となっていた為、参加人数を変更し2名が参加した。

入林者数 54名

午前中、視覚障害者の山歩きの会「六ツ星山の会」27名（内障害者9名）が入林した。

前日に来場の連絡があったとのこと。3班に分かれ FIC のスタッフと Abies が全行程をガイドし、柚ノ木まで往復した。視覚障害者の森林観察ガイドは貴重な体験となった。



六ツ星山の会

黒滝ゲートより 100m 下流の林道斜面が崩落した。視覚障害者が我々と通過してから5分ほど後の事で、崩落直後山中先生が崩落場所を通過して判った。（幅4m 高さ8m 1.5トン **写真参照**）すぐに注意標識のコーンを設置した。



13時過ぎ、練馬区のスポーツ団体の下見で、南波さん以下5名が入林した。FIC と Abies がご案内した。

小雨に煙った紫色のフジの花が谷の上の方で咲き始めていた。両日とも無事定刻に終了した。

以上

5 月度 Abies ボランティア活動

千葉演習林春の研修会聴講ほか

岩崎寿一

春の研修会が2013（平成25）年5月21日（火）9:15から清澄講堂に於いて行われました。

聴講者計24名 内 Abies から米倉、岩崎（寿）（香）3名が聴講しました。

山田林長の挨拶に続き、8項目の発表がありました。午後の部は交通安全講習会だったので聴講は遠慮して昼食後菖蒲沢の菖蒲の様子を確認に行きました。

午前の部：研修会

発表項目（発表者敬称略）

- 1 「房総を襲った主な津波と東日本大震災時の行動および現在の対応策」村川
- 2 「東京大学千葉演習林における GPS・GIS の導入事例」軽込
- 3 「キヨスミミツバツツジのさし木最適条件の検討」里見
- 4 「房総半島南部におけるヒノキ漏脂病の発生要因の解明」軽込
- 5 「最近行った他大学演習林：琉球大学、京大、宮崎大、信州大」「土留め試験（南沢補植地）」當山
- 6 「千葉県外房地域における陸水産エビ類の生物地理学および個体群生態学的研究～演習林内での調査概要～」三次
- 7 「リスクアセスメント結果について」大石
- 8 「担架の使い方について」藤平

午後の部 13：00～14：00

交通安全講習会 千葉県鴨川警察署交通課



研修会の様子



担架の使い方講習

特に印象に残った点について

3.11震災についての報告の中で、房総は近い将来巨大地震と津波が予想されると云われています。

千葉演習林としての震災時の行動指針はつぎの通りです。

避難場所は清澄学生宿舎とし、対策本部を清澄に置く。食料、水等の防災用品は清澄宿舎に準備する。震災時各人は、まずその場で身の安全を確保し、その後に清澄宿舎に避難すること。Abies 会員にも周知してもらう必要があると思いました。

ヒノキ漏脂病の発生について、

遺伝的要因と環境的要因がある様だとの話。発生原因を調査解析中なので、脂（ヤニ）がだらだら出ているヒノキを見たら連絡頂きたいとのお願いがありました。

陸水産エビ類の研究について、論文を書く準備をしておられると聞きました。

森林と川の関係や川の生き物について教えて頂きたいと思います。

昼前に担架の使い方の講習を実施しました。けが人を止めるヒモが無いのが心配でした。

昼食後、Abies 3名で菖蒲沢の菖蒲の状態を観察してきました。

菖蒲沢に下りると、大きなイモリが鹿網の中に逃げ込みました。

鹿柵の内側の菖蒲は、ほとんどが食害されていました。ネットの裾に隙間ができていますので、そこから進入したものと思われます。犯人は特定出来ませんが、裾の固定が必要だと思いました。

昨年ネットの外側に植付けた菖蒲は、ほとんど無くなっていました。食べられたと思います。

一杯水林道ではジャケツイバラとホオの花が見られました。

郷台宿舎脇のセッコクがきれいでした。

糟谷さんが管理してくださっている札郷苗畑にある池では、オタマジャクシ、十数匹のイモリ、ヘビ等と一緒に菖蒲が元気に育っていました。

糟谷さんに感謝です。比較の為に写真を撮って来ました。



セッコクの花

以上



菖蒲沢



札郷苗畑の菖蒲

今後の Abies ボランティア活動予定

< 千葉演習林高校生ゼミナールのサポート >

日 程 2013 (平成 25) 年 7 月 30 日 (火) ~ 8 月 1 日 (木) の 2 泊 3 日

受付期間 ~ 7 月 5 日 (金)

詳細は別途お知らせしたとおりです。

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 No.45

〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770 東京大学千葉演習林

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321